



「むなかた海守り隊」 小学生が宗像の海から海の未来を考える2日間

「海と日本プロジェクト in ふくおか」は8月5日、6日の2日間、宗像市で県内の小学生20人を対象に体験学習イベント「むなかた海守り隊」を開催します。

このイベントは子どもたちが宗像の豊かな海をフィールドに海洋環境学習や漁業体験を通して、海と水産資源を守る大切さを考えることを目的におこないます。

宗像市は、まき網漁や海女漁など多様な漁業が営まれ、県内で有数の漁獲量がある一方、近年は温暖化や磯焼けなど、海の環境変化の課題に直面しています。

子どもたちは期間中、漁師から直接話を聞き、魚さばきや塩づくりなどの体験活動を行い、海の現状と未来について学びを深めます。さらに10月11日(土)には自分たちで考案・作成した商品を「RKB カラフルフェス2025」で販売します。

これらの活動を通して、未来を担う子どもたちが海との関わりを自分事として捉え、宗像の海と関わるきっかけ作りをおこないます。

【イベント概要】

1. 日 時 令和7年8月5日(火)8時30分～、6日(水)～18時
10月11日(土)8時～17時
2. 会 場 福岡県立少年自然の家「玄海の家」 宗像市神湊1276
RKB 放送会館 福岡市早良区百道浜2-3-8
宗像市大島 ほか
3. 内 容
 - (1) 漁師さんや海女さんの話から学ぶ
 - (2) 大島で塩づくり体験
 - (3) 魚さばき体験、料理体験
 - (4) 商品化に向けたディスカッション
 - (5) 【10月11日】イベント会場で、作成した商品を販売
4. 参加者 福岡県内の小学校 5、6年生 20人
5. 主 催 一般社団法人 海と日本プロジェクト in ふくおか
オフィシャルパートナー RKB 毎日放送株式会社

<イベント紹介ページ>



【問い合わせ先】

宗像市秘書政策課 担当：一番ヶ瀬 TEL:0940-36-1055